

【公益】社会福祉・福祉施設の補修

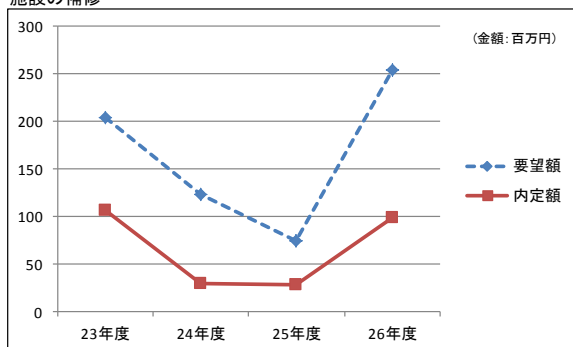
1. 補助の目的・概要

本財団が過去に建築補助を行った福祉施設をより長く利用し、社会福祉に役立てるため、平成 23 年度から福祉施設の補修事業を本財団の補助事業として支援することとなった。

平成 24 年度の公益事業振興補助においては、屋根、外壁からの漏水の補修等について支援した。

2. 補助実績（件数・金額）

施設の補修



年度	要望数 (件)	要望額 (百万円)	内定数* (件)	内定額* (百万円)
23年度	14	204	11	107
24年度	11	123	4	30
25年度	6	75	2	28
26年度	10	254	5	99



※辞退となった事業を除く

平成 24 年度においては、11 件 1 億 2,298 万円の補助要望があり、そのうち 4 件 3,019 万円の支援を行った。なお、4 件の内定事業のうち、1 件が計画変更となった。

3. 補助事業の事例

築 21 年を経過した障害者支援施設「山口秋穂園女子棟」は、海辺に隣接した立地環境から老朽化の進行が早く、漏水も発生していたことから、屋根及び外壁の補修工事を行った。（社会福祉法人 親誠会）

改修前	改修後	工事内容
		外壁補修

改修前	改修後	工事内容
		屋上防水補修

4. 補助事業の成果等

平成24年度は過去にJKAが建築の補助を行った1つの児童福祉施設と老人福祉施設、それから2つの障害者福祉施設の補修事業に支援を行った。いずれも外壁や屋上の防水工事であるが、補修を行うことでより長く施設を利用できるようになり、また施設利用者の活動を安全で快適に行うことができるようになった。

5. 補助事業の評価

事業完了後の事業者の自己評価の総合評価は、評価対象4件すべてが、5段階評価で評価4 [比較的高い]であった。

事業者の自己評価等を踏まえJKAで評価を行ったところ、A+[比較的高い]が3件、A [概ね十分]が1件と、すべての事業で事前に計画していた事業の目標は達成され、事業の広報も概ね十分とする水準を満たしていたと評価しており、施設の補修事業を行ったことは福祉サービスの安定的な供給に寄与することができた。